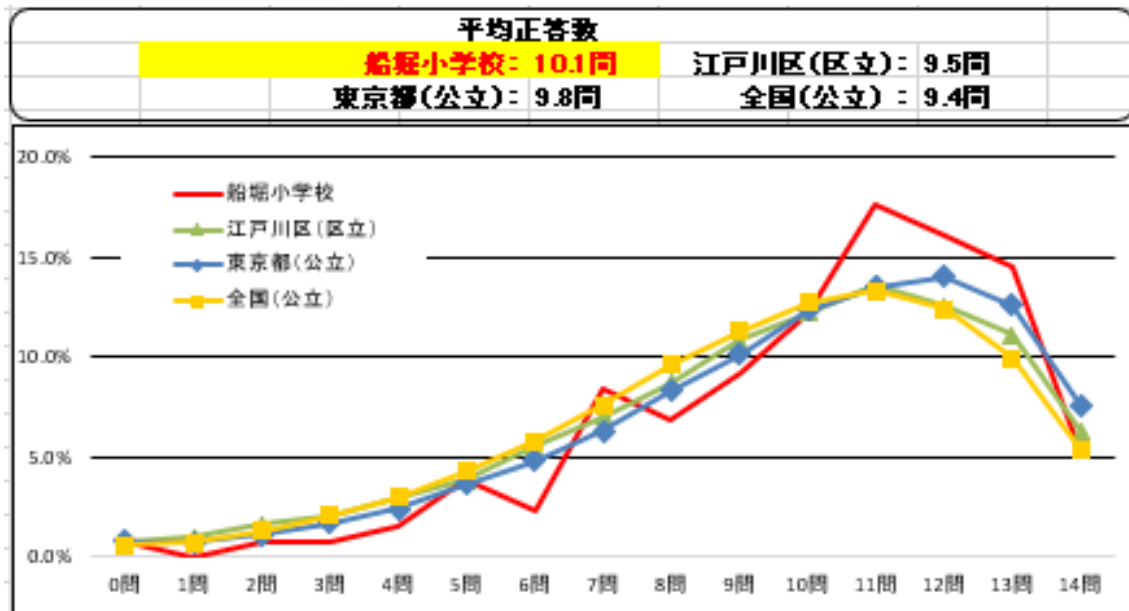


令和7年度全国学力・学習状況調査 結果分析表【国語】 船堀小学校

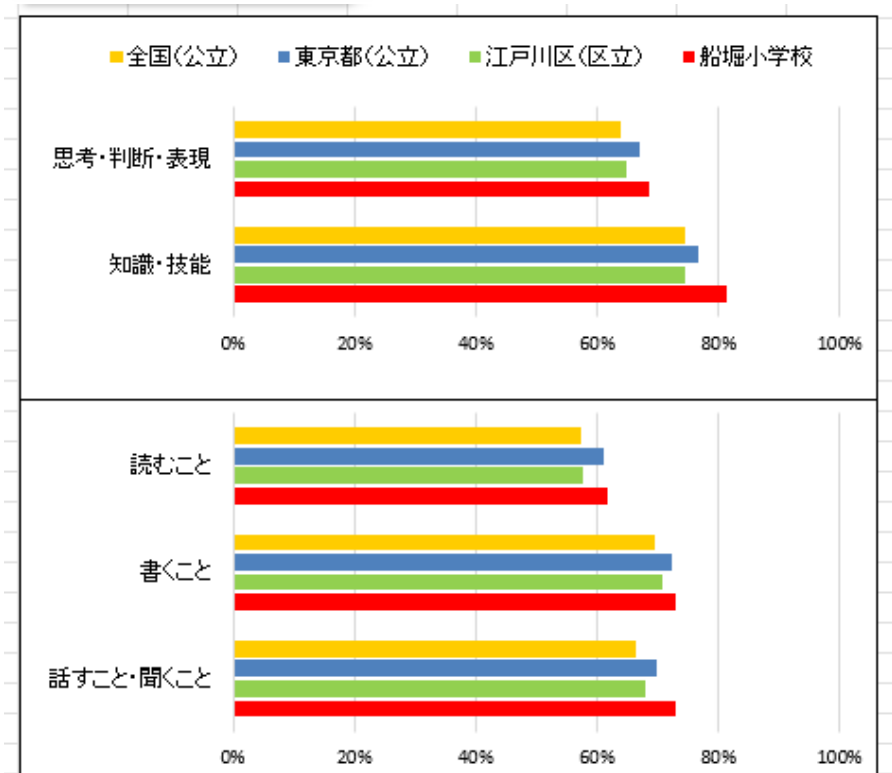
正答数分布



分析結果

- ・全国と江戸川区の平均を越え、基礎的な学力が身に付いている。
- ・漢字のように基本的な知識を問われる問題に比べ、思考力・判断力・表現力を問われる問題がどの領域においても正答率が低い傾向がある。
- ・「話すこと・聞くこと」、「書くこと」の領域では、基本的な文章を書く手順は理解しているものの、「どうやったら説得力がでる文章になるか」、「メモを整理の仕方はどのようにするとよいか」といった思考を巡らせながら取り組む経験が少ないことが考えられる。
- ・「読むこと」においては、文章の事実と意見を読み分け、文章全体の構成や文章の要旨を把握することや図やグラフ等の資料と文章を対応させながら読むことが苦手な傾向があり、単語の拾い読みだけで問題に回答したり、文章の要旨に対して自分の意見をもち、記述することも苦手を感じたりしていることが予想される。

「領域別」の結果



授業改善に向けて

- ・語彙の充実のために、文章を読んだり書いたりする機会を増やす。
【朝読書、YOMYOM ワークシート(4・5・6年生)】
- ・漢字や文法、語彙といった基礎的な知識を身につける。
【タブレットのドリルパークの活用】
- ・スピーチや作文の学習の際に、取り組む目的意識や相手意識を明確にし、どんな内容や工夫をしようかという思考の働く学習にする。
- ・文章を読む学習の際には、文章の要旨を把握することと、それに対する自分の考えをまとめ、記述する機会を増やす。**【授業改善】**